

TUSA

アルティメイト・ドライ給気バルブシステム

メンテナンスマニュアル

第1版

Ultimate dry inlet valve

Ultimate dry exhaust valve

Instruction manual

本取扱説明書は、アルティメイト・ドライバルブシステムの使用方法に関するもので、ドライスーツの取扱説明書ではありません。

TUSAドライスーツをご使用になる際は、本取扱説明書（アルティメイト・ドライバルブシステム）と、別紙のドライスーツ取扱説明書をよくお読みください。

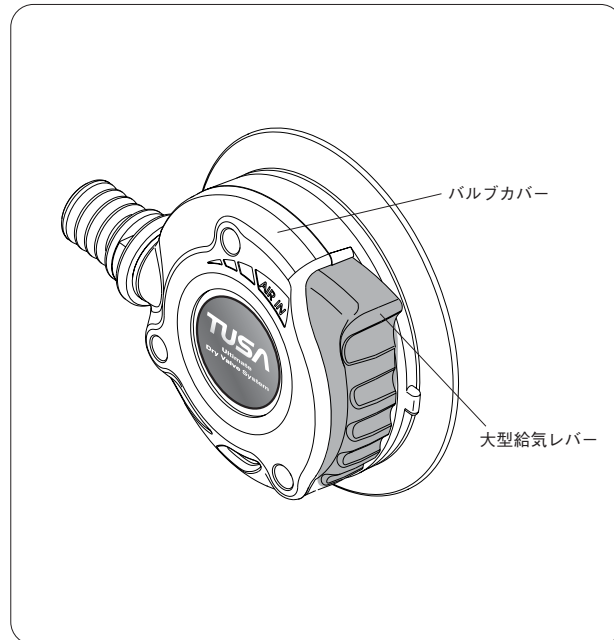
⚠ 注意事項

- バルブ本体のスーツ生地への取り付けネジが緩んでいると、漏水する恐れがあります。ご使用前に必ず、バルブ本体に緩みや異常がないかどうかをご確認ください。万一ネジが緩んでいた、異物の挟み込みなどがあつたりする場合は使用を中止し、メンテナンス・修理（別紙のドライスーツ取扱説明書P〇参照）をお受けください。
- 直射日光下や、炎天下の車内やトランク内などの高温環境下に放置したり、保管したりすると、樹脂パーツの変形や破損を招くことがありますので、十分ご注意ください。
- 弊社製スーツパッキン以外を使っての取り付けは出来ません。また、本バルブの樹脂は、シリコンRTVゴム等に接触し続けると、ひび割れなどの損傷を招く恐れがあります。

Ultimate dry inlet valve

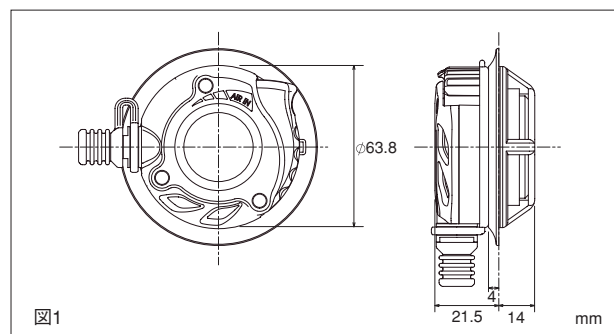
アルティメイト・ドライ給気バルブ

■各部の名称



■仕様

- 品名 : ドライスーツ用給気バルブ
- 外観形状 : 図1による
- 給気機能 : レバー操作による給気
- 耐水深度 : 取り付けスーツ内外差10m (2分間)
- 常用供給空気圧 : 0.95MPa ±0.1MPa
- 付加機能 : 本体360°回転可能
- 給気流量 : 100ℓ/分以上
- 使用温度範囲 : 0~40℃
- 保管温度範囲 : -20℃~50℃



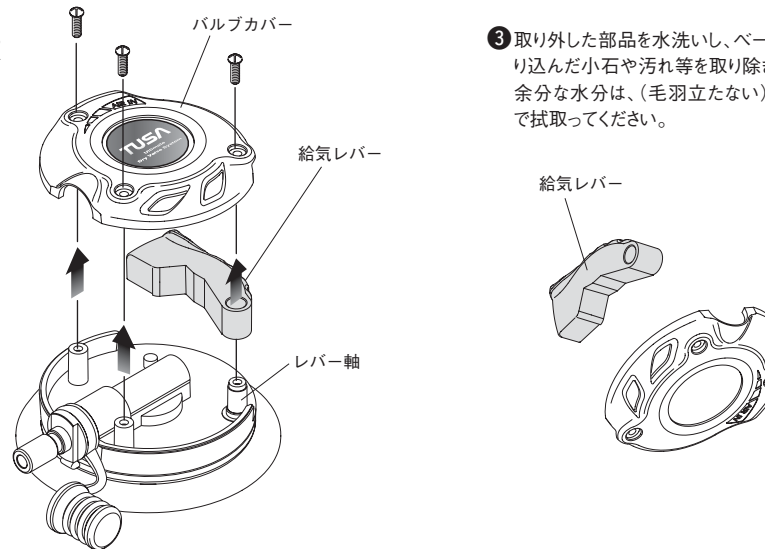
1 給気バルブの分解

小石などが入って、どうしても取れない場合には、以下の手順で給気バルブを分解して取り除いてください。

① まず、バルブカバー上にある3箇所のネジを、プラスドライバーを使って外します。

② 次に、バルブカバー、給気レバーの順で取り外します。

③ 取り外した部品を水洗いし、ベースに入り込んだ小石や汚れ等を取り除きます。余分な水分は、(毛羽立たない)布などで拭取ってください。

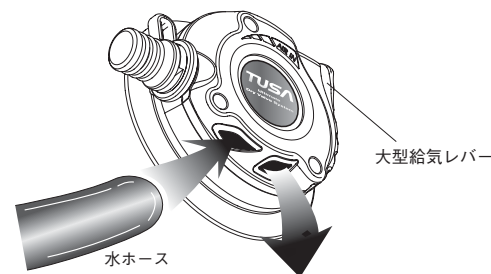


2 給気バルブの洗浄・乾燥

ドライスーツを使用した後は、必ず給気バルブをよく水洗いしてください。

① バルブ下部に穴が2箇所ありますので、どちらかの穴からホースで内部に水を流し込むと、もう片方の穴から砂やごみなどが排出されます。塩噛みをふせぐために、大型給気レバーを動かしながら水を流してください。

② 水洗いした後は、直射日光が当たらない日陰の風通しの良い場所で十分に乾燥させてください。



※ガソリン、シンナー、アルコールでの汚れ落としは、絶対にしないでください。変形や破損の原因となります。

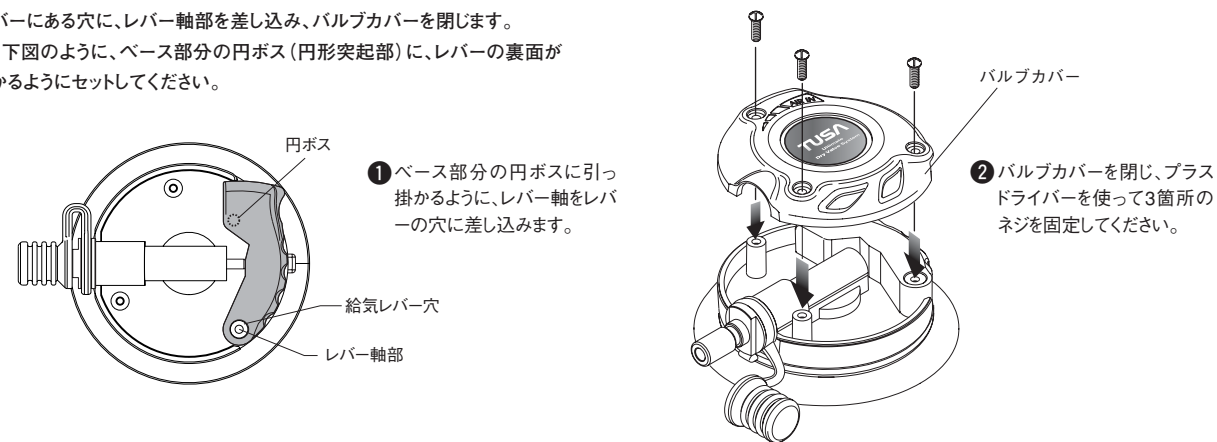


3 給気バルブの組み立て

給気レバーにある穴に、レバー軸部を差し込み、バルブカバーを閉じます。この時、下図のように、ベース部分の円ボス(円形突起部)に、レバーの裏面に引っ掛かるようにセットしてください。

① ベース部分の円ボスに引っ掛かるように、レバー軸をレバーの穴に差し込みます。

② バルブカバーを閉じ、プラスドライバーを使って3箇所のネジを固定してください。



TUSA

アルティメイト・ドライ給気排気バルブシステム

メンテナンスマニュアル

第1版

Ultimate dry inlet valve

Ultimate dry exhaust valve

Instruction manual

本取扱説明書は、アルティメイト・ドライバルブシステムの使用方法に関するもので、ドライスーツの取扱説明書ではありません。

TUSAドライスーツをご使用になる際は、本取扱説明書（アルティメイト・ドライバルブシステム）と、別紙のドライスーツ取扱説明書をよくお読みください。

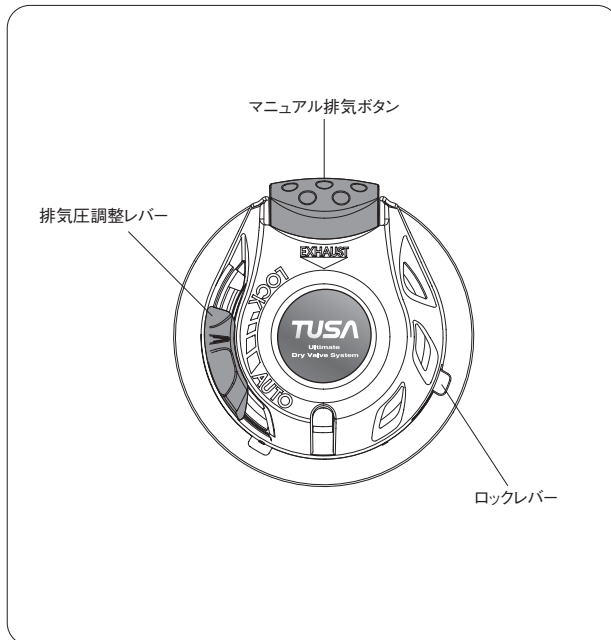
⚠ 注意事項

- バルブの弁シートおよびベース部分の弁シートが当たるシール部分に、キズ、汚れや異物などの付着がある場合には、防水性能が落ちて、水圧に耐えられない場合があります。ご使用前には、バルブの点検清掃を、必ず行ってください。
- バルブ本体のスーツ生地への取り付けネジが緩んでいると、漏水する恐れがあるので、ご使用前に必ず、バルブ本体に緩みや異常がないかどうかをご確認ください。万一ネジが緩んでいたり、異物の挟み込みなどがあつたりする場合は使用を中止し、メンテナンス・修理をお受けください。
- 直射日光下や、炎天下の車内やトランク内などの高温環境下に放置したり、保管したりすると、樹脂パーツの変形や破損を招くことがありますので、ご注意ください。
- 弊社製スーツパッキン以外を使つての取り付けは出来ません。また、本バルブの樹脂は、シリコンRTVゴム等に接触し続けると、ひび割れなどの損傷を招く恐れがあります。ご使用前の点検清掃を必ず行ってください。

Ultimate dry exhaust valve

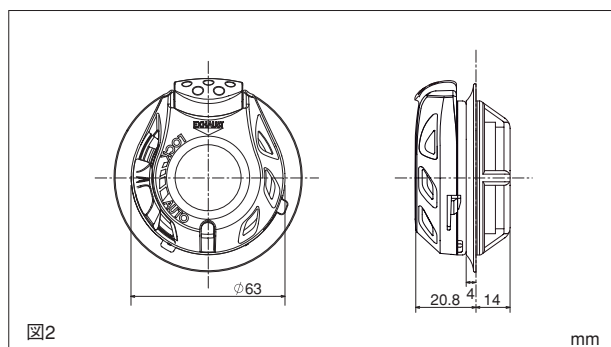
アルティメイト・ドライ排気バルブ

■各部の名称



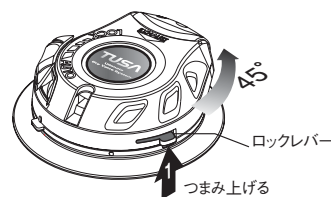
■仕様

- 品名 : ドライスーツ用排気バルブ
- 外観形状 : 図2による
- 重量 : 60g
- ロック機能 : レバー操作により、自動排気の停止、及び排気ロックの強・弱が可能
- 耐水深度 : 取り付けスーツ内外差30m (2分間)
- 排気開始圧 : 約0.3kPa (自動排気時)、2kPa以上 (排気ロック時)
- 付加機能 : イージーメンテナンス構造
- 使用温度範囲 : 0~40℃
- 保管温度範囲 : -20℃~50℃

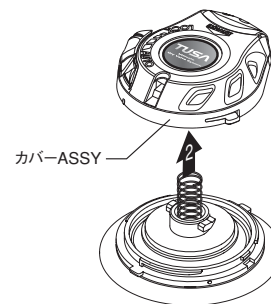


1 排気バルブの分解

① 図のように、ロックレバーをつまみ上げながら、カバーASSYを反時計方向に45°回転させます。



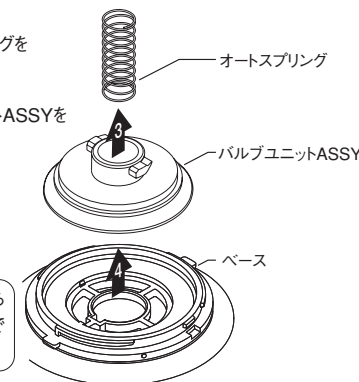
② そのまま持ち上げると、カバーASSYが外れます。



③ オートスプリングを外します。

④ バルブユニットASSYを外します。

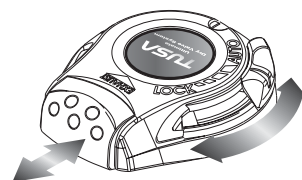
※ベースはスーツから絶対に外さないでください。



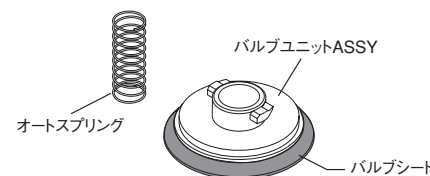
2 排気バルブの洗浄・乾燥

- 分解したら、各部品を良く水洗いしてください。
- 塩分や砂、糸くずなどを良く洗い流してください。
- 水洗いした後は、分解したままの状態、直射日光が当たらない、風通しの良い清潔な場所で、十分に乾燥させてください。

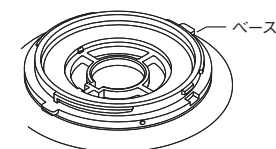
① カバーASSYは、塩漬みを防ぐために、マニュアル排気ボタンと排気圧調整レバーを、動かしながら水洗いしてください。



② バルブユニットASSYは、バルブシートを引っぱらないように水洗いし、穴や破れなどがないかどうかを確認してください。



③ 水漏れの原因となりますので、ベースの内側は、特に清潔にしてください。



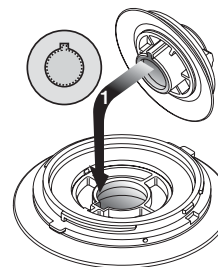
※ガソリン、シンナー、アルコールでの汚れ落としは、絶対にしないでください。変形や破損の原因となります。



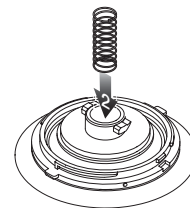
3 排気バルブの組立て

分解時と、逆の手順で組立てます。

① まず、ベースにバルブユニットASSYをセットします。その際、バルブユニットの差込み部分の突起を、ベースの穴の溝に合わせて、はめ込むようにしてください。

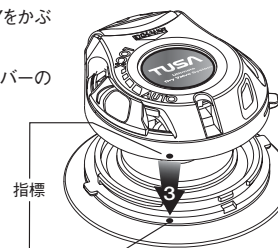


② バルブユニットにオートスプリングをセットします。

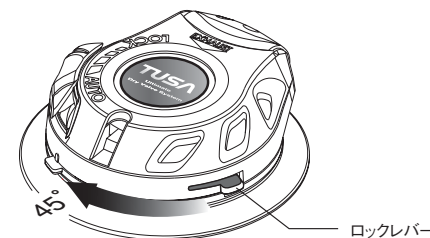


③ ベースの指標部分と、カバーASSYの指標部分をぴったりと合わせて、カバーASSYをかぶせます。

- 指標を正しく合わせないと、次回、カバーの取り外しができなくなります。
- オートスプリングが曲がって入らないように、注意してください。



④ カバーASSYを上から押さえつけて、ベースとの間に隙間がないことを確認します。そのまま、ベースが動かないようにして、カバーASSYを時計方向に45°“カチッ”と音がするまで回転させます。



⑤ ロックレバーが下り、ベースにカバーASSYが、確実にロックされているかどうかを確認してください。

⚠ 注意事項

- ロックレバーが確実に下りていないと、潜水中にダイヤルASSYが外れて水没し、重大な事故を招く危険性があります。
- 各部品にシリコングリスや防錆剤などを塗らないでください。砂やゴミが付着しやすくなり、水漏れの原因になります。
- アルティメイト・ドライ排気バルブの分解・組立ては、必ず清潔な室内で行ってください。